

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」追加登録の推進について

三県共通資料①



目的

世界遺産の価値を向上するため、未登録の文化遺産について、三県で協力して史跡の追加指定及び世界遺産追加登録を推進

経緯

○世界遺産登録

平成16年 当初登録
平成28年 第1回追加登録
(軽微な変更)

○史跡の追加指定

平成27年以降、史跡熊野参詣道の追加指定を随時実施

必要な取組

- ・世界遺産追加登録の前提となる史跡指定への取組
(市町村・県による学術調査など)
- ・包括的保存管理計画の改訂、緩衝地帯保護を目的とした各市町村景観保全条例等の策定・改訂
- ・世界遺産委員会への提案書の作成

今後の課題

- ・三県・関係市町村と協働しながら取組を推進
- ・世界遺産追加登録の機運醸成のため、更なる普及啓発事業の実施

期待される効果

- ①「紀伊山地の霊場と参詣道」の価値向上による魅力拡大
- ②世界遺産所在エリアの拡充と地域への愛着の醸成
- ③観光資源の増加による紀伊半島への更なる誘客・地域振興



鹿ヶ瀬峠
(和歌山県日高町)

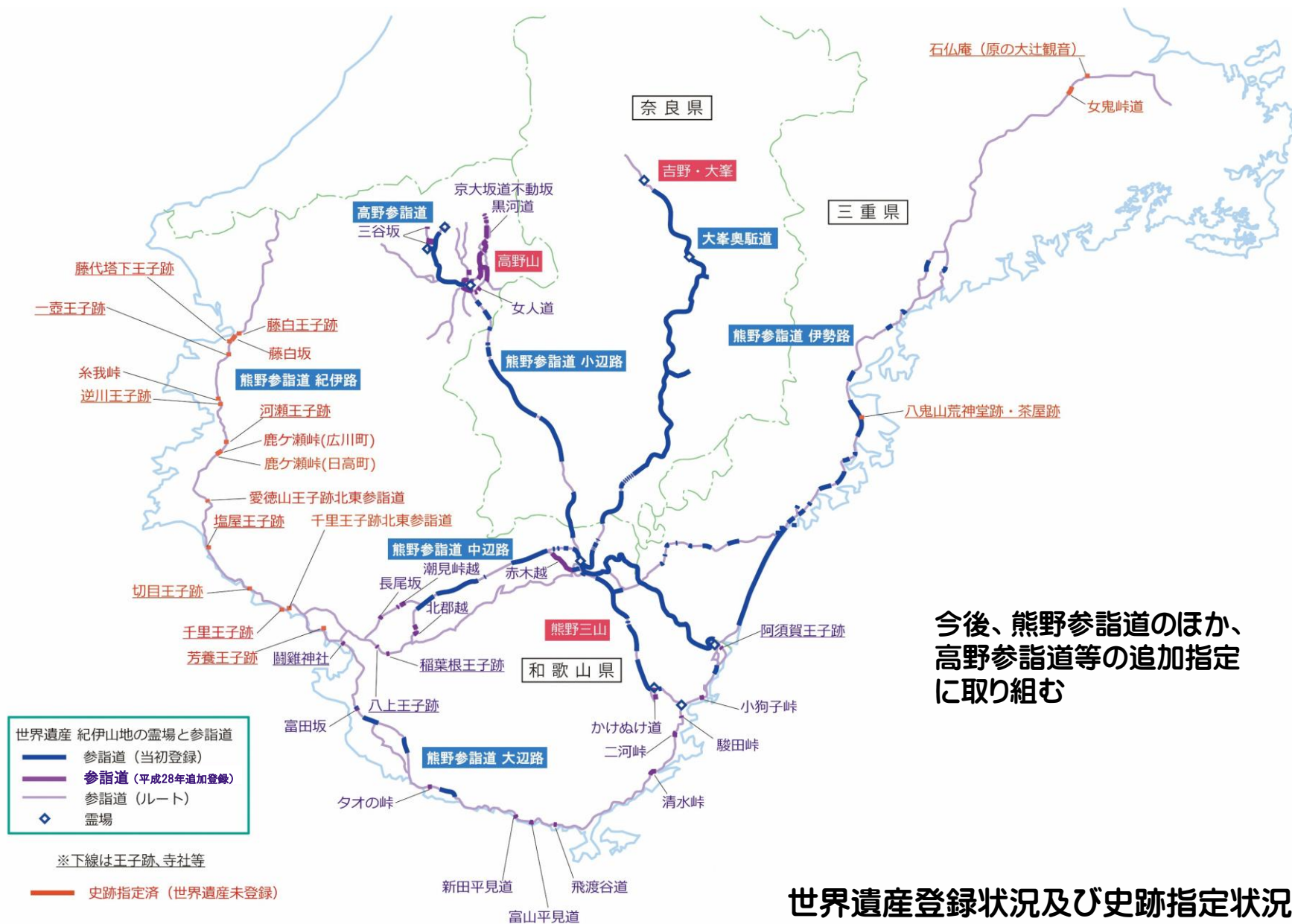


石仏庵
(三重県玉城町)

史跡追加指定例

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」追加登録の推進について

三県共通資料②



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」追加登録の推進について

和歌山県補足資料



藤白坂 (平成27年10月追加指定)



愛徳山王子跡北東参詣道
(平成30年2月追加指定)



切目王子跡 (令和4年11月追加指定)

